

2012年度 第2四半期決算説明会

第89期：第2四半期累計期間（2012年4月1日～2012年9月30日）

2012.11.8



太平洋工業株式会社

目 次

1. 会社の概要
2. 2012年度第2四半期業績実績
3. 2012年度業績予想
4. 長期ビジョン・中期経営計画
5. 技術開発
6. 事業展開

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

1-1 当社の概要

- ◆創業 1930年8月
- ◆代表者 社長 小川信也
- ◆資本金 43億2千万円
- ◆株式 東証・名証一部上場('70年8月)(証券コード 7250)

セグメント		プレス樹脂製品 事業	バルブ製品事業		その他	合計
事業			タイヤバルブ・制御機器事業	TPMS事業		
単 独	売上高('12予想)	388億円 67%	102億円 18%	90億円 15%	—	580億円
	主要工場	西大垣、東大垣 養老、九州、東北	美濃、北大垣	北大垣	—	国内7工場
連 結	売上高('12予想)	548 億円	228億円		3億円	780億円
	人 員	1,920人	870人		80人	2,970人
	海外拠点	台湾、米国 中国	台湾、韓国 タイ、中国、ベルギー	—	—	6ヶ国 10会社
主要顧客		トヨタ、ダイハツ、日野 三菱、ホンダ、スズキ プライムアースEVIナジー	ブリヂストン、横浜ゴム、住友ゴム、東洋ゴム イノアック、ミシュランタイヤ、トピー工業 デンソー、豊田自動織機、サンデン ヴァレオ、パナソニック、東芝、シャープ	トヨタ ホンダ 日産	地域企業	
主要製品		プレス加工 樹脂加工、金型	タイヤバルブ バルブコア 空調用制御弁	TPMS	ゴルフ場 ソフトウェア 保険代理 店	

1-2 企業結合の状況

1. 連結会社: 13社

■ プレス樹脂製品事業 ■ バルブ製品事業

区分	会 社 名	事業分野			主な事業内容	設立	議決権比率	'12 売上高 予想	人員
		プレス	バルブ	その他					
国内	ピーアイシステム株式会社 (PSC)			●	情報処理、ソフト開発・販売	1987年	100%	4億円	55人
	太平洋開発株式会社 (PDC)			●	ゴルフ場資産管理(養老CC)	1972年	66.5%	2億円	20人
	太養興産株式会社 (TYC)			●	ゴルフ場運営(養老CC)	2005年	(PDC) 100%	—	—
	太平洋産業株式会社 (TSC)	●			自動車用プレス製品の製造・販売	1974年	100%	11億円	25人
	国内連結会社 計							18億円	100人
海外	米国	Pacific Industries USA Inc. (PIU)	(持株会社)		下記米国会社の統括管理	1988年	100%	—	—
		Pacific Manufacturing Ohio Inc. (PMO)	●	●	自動車用プレス製品・バルブ関連製品の製造・販売	1999年	(PIU) 100%	148億円	400人
	台湾	太平洋汽門工業股份有限公司 (PVT)	●	●	自動車用プレス製品・バルブ関連製品の製造・販売	1984年	99.5%	44億円	230人
	韓国	太平洋バルブ工業株式会社 (PVI)		●	バルブ関連製品の製造・販売	1987年	100%	12億円	80人
		太平洋エアコントロール工業株式会社 (PAC)		●	カーエアコン部品の製造	2004年	(PVI 16%) 84%	19億円	170人
	タイ	Pacific Industries(Thailand) Co.,Ltd. (PIT)		●	バルブ関連製品の製造・販売	1989年	75%	12億円	160人
	中国	太平洋工業(中国)投資有限公司 (PCC)	(持株会社)		下記中国会社の統括管理	2012年	100%	—	5人
		天津太平洋汽車部件有限公司 (TPA)	●		自動車用プレス製品の製造・販売	2005年	100%	36億円	220人
		長沙太平洋半谷汽車部件有限公司 (CPH)	●		自動車用プレス製品の製造・販売	2012年	(PCC 74%) (TPA 11%) 1.3%	1億円	30人
	海外連結会社 計							274億円	1,295人

2. 持分法適用会社: 1社

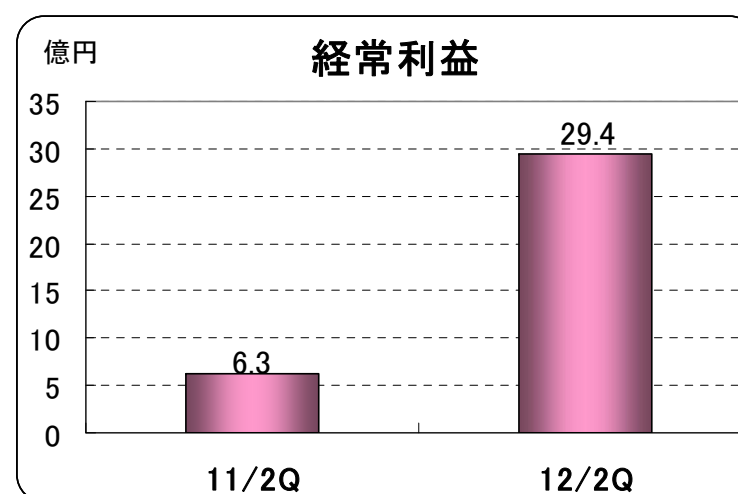
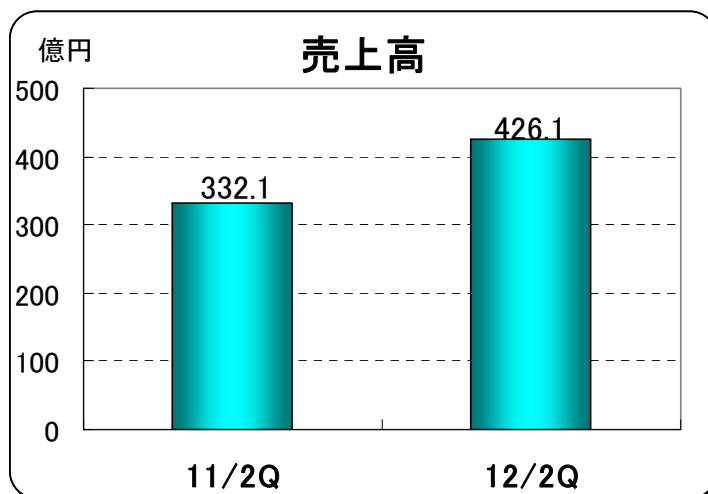
国内	PECホールディングス株式会社 (PEC)	●	●		オートフューズ・電気小物製品の製造・販売	1961年	22.6%	155億円	650人
----	-----------------------	---	---	--	----------------------	-------	-------	-------	------

2-1 第2Q 連結業績

*過去最高

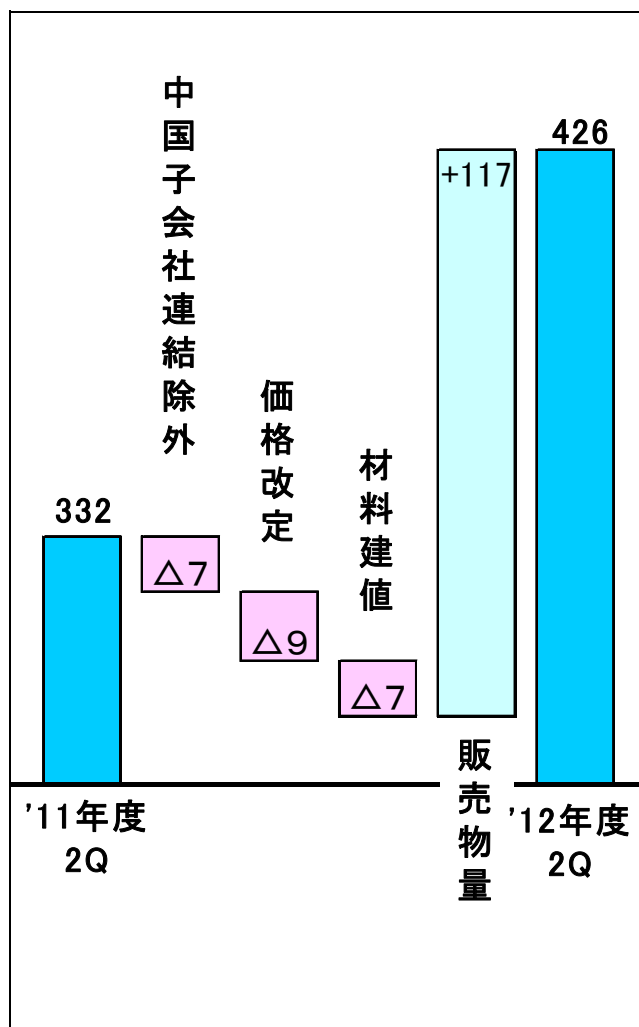
(百万円、%)

	前第2 四半期	第2四半期				前四半期比		
		8/1 前回予想 値	実績	前回予想比		増減	増減率	
				増減	増減率			
売上高	33,215	41,000	42,613	1,613	+3.9	9,397	+28.3	2期振りの増収
営業利益	490 1.5%	2,200 5.4%	2,548 6.0%	348	+15.8	2,058	+419.4	2期振りの増益
経常利益	639 1.9%	2,700 6.6%	* 2,941 6.9%	241	+8.9	2,302	+360.3	2期振りの増益
四半期純利益	569 1.7%	1,600 3.9%	1,277 3.0%	△323	△20.2	707	+124.1	2期振りの増益

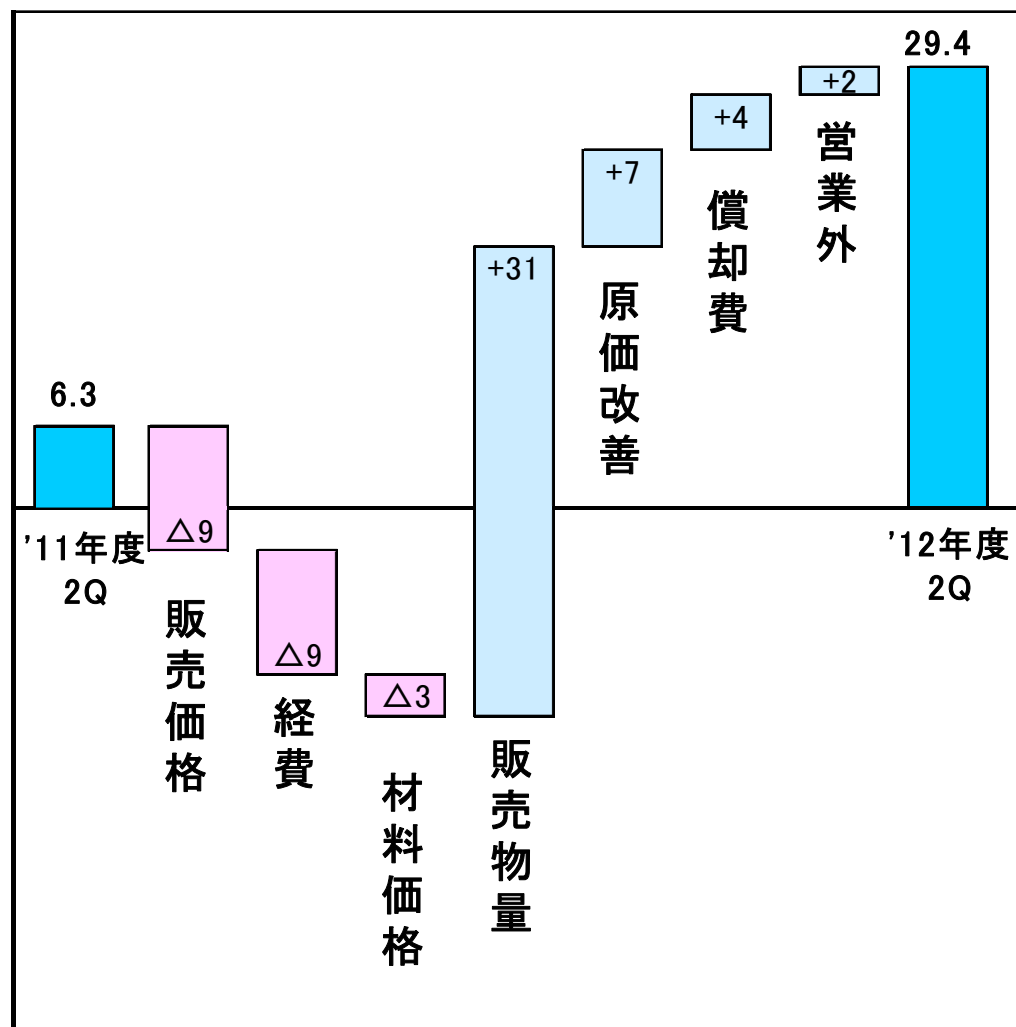


2-2 第2Q 連結利益増減要因

《12年度2Q 対 11年度2Q》
売上高+94億円

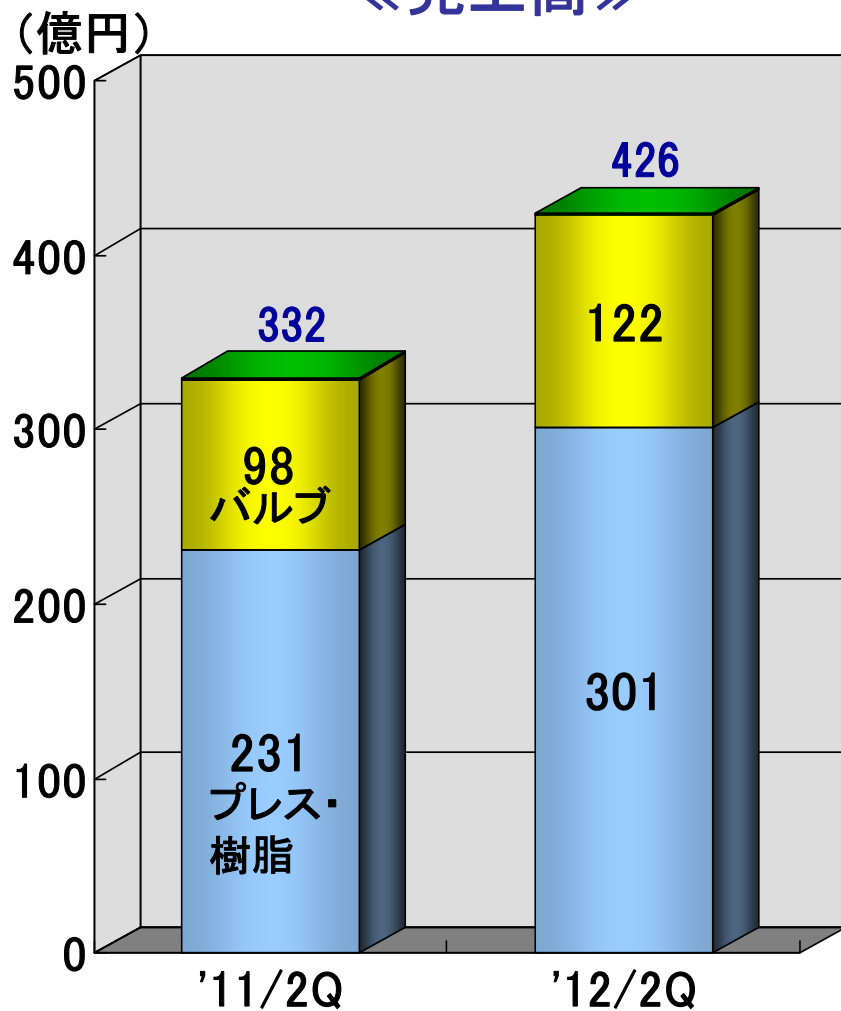


《12年度2Q 対 11年度2Q》
経常利益+23億円

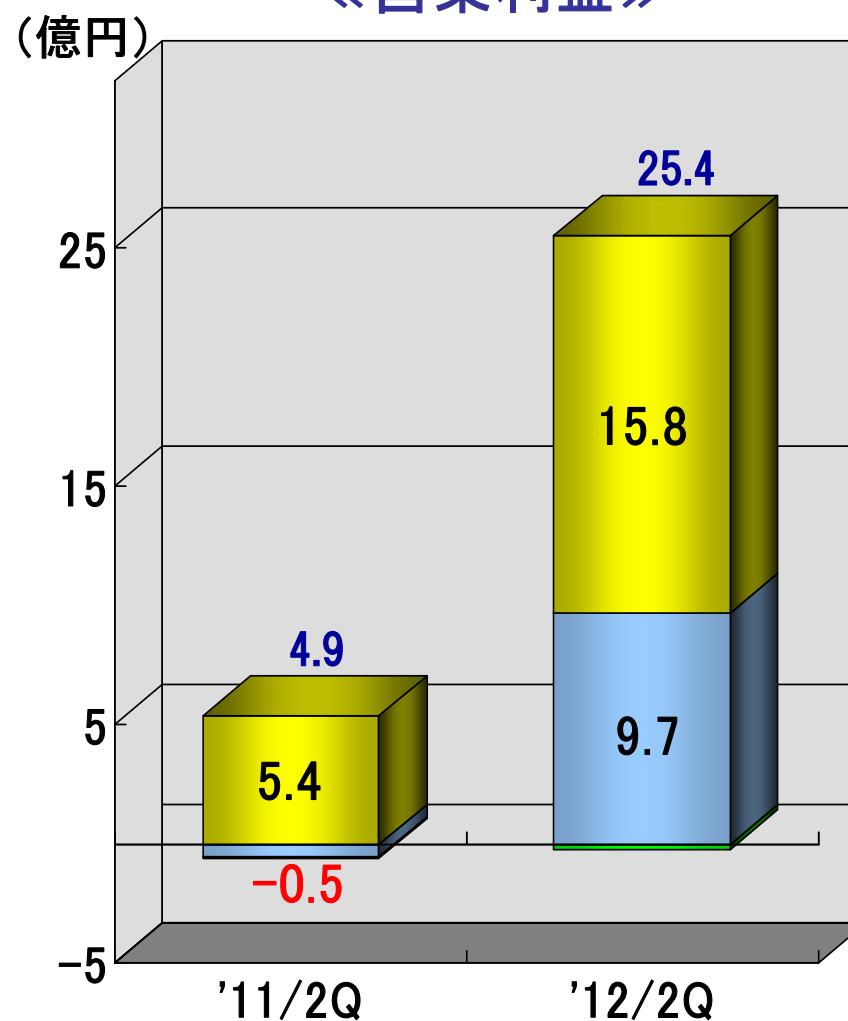


2-3 第2Q 連結事業別セグメント

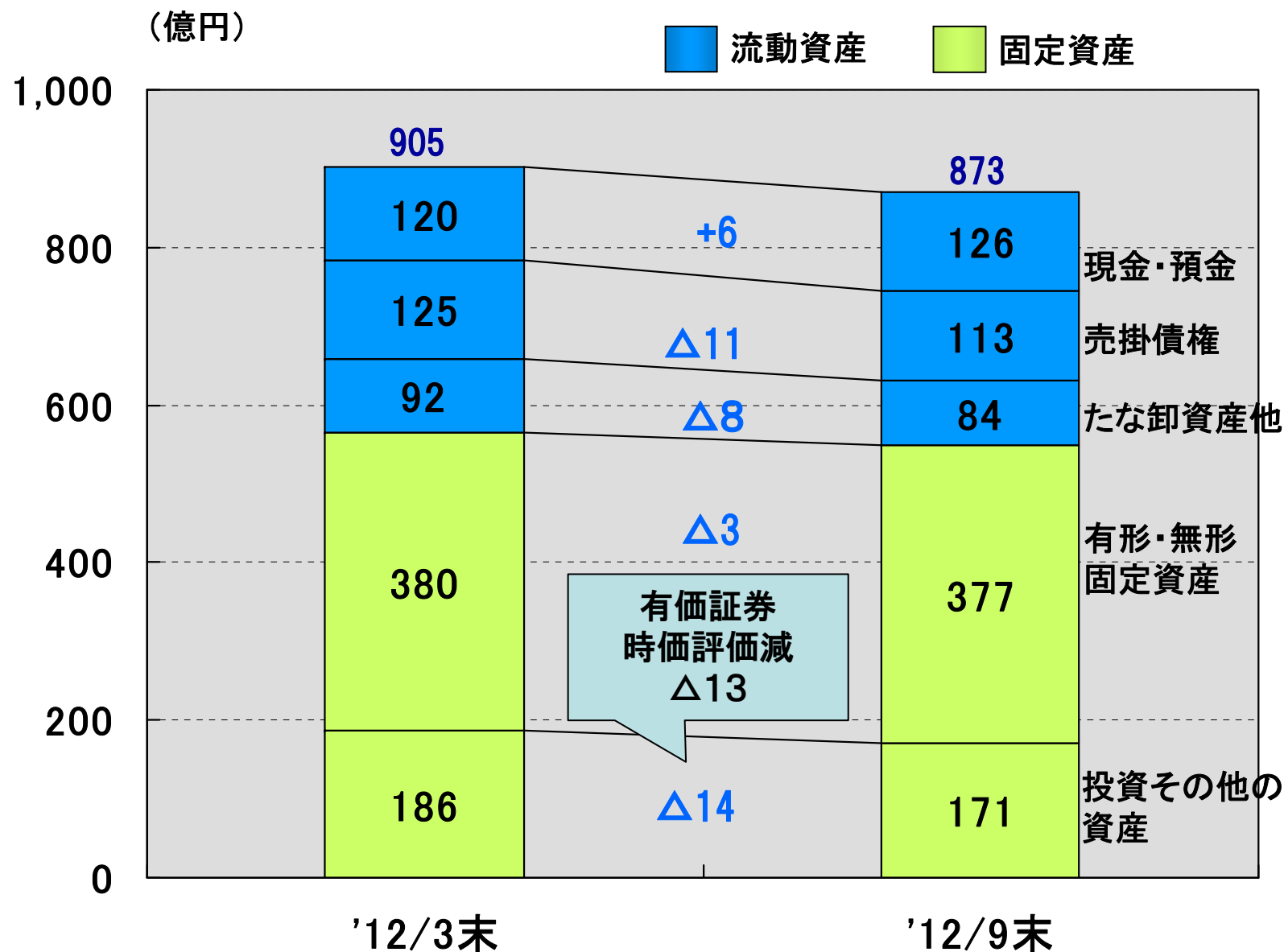
《売上高》



《営業利益》



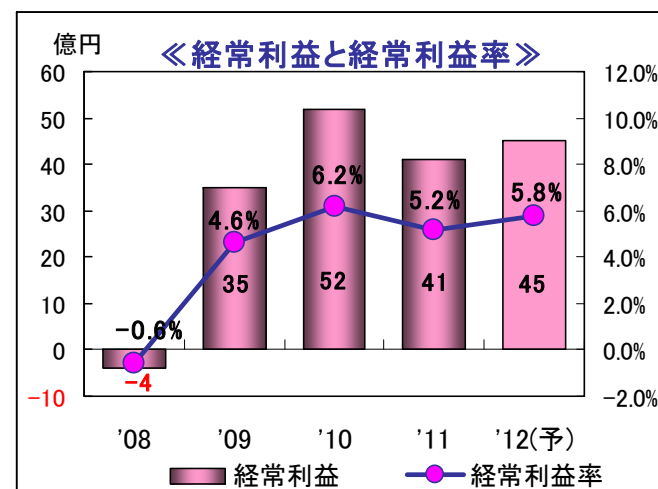
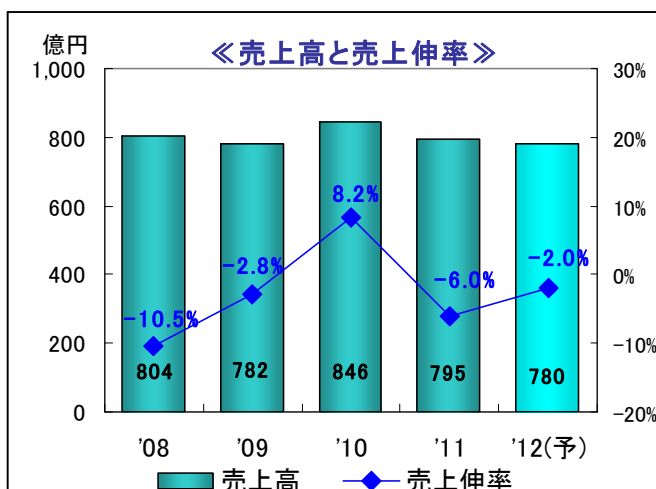
2-4 第2Q 連結総資産 増減内訳



3-1 通期 連結業績予想

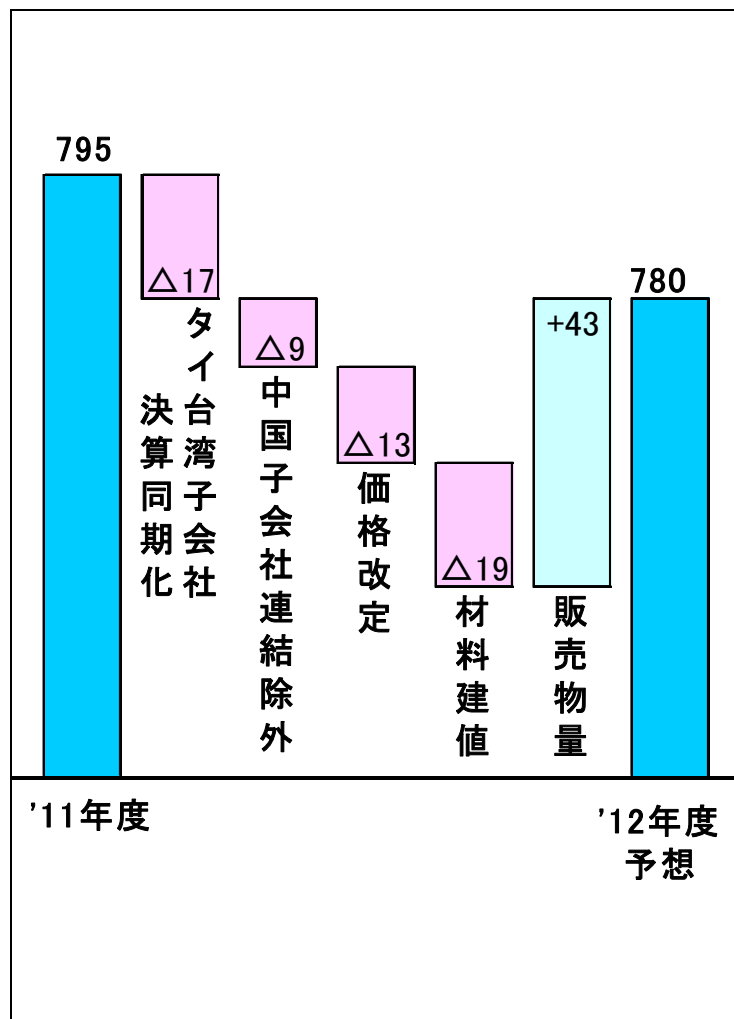
[百万円]

	'10	'11	'12 (8/1予想)	'12 (今回予想)	前回予想比		前期比		連単 倍率	
					増減	増減率	増減	増減率		
売上高	84,631	79,579	78,000	78,000	-	-	△1,579	△2.0	1.3	2期連続減収
営業利益	5,151	3,699	3,800	3,800	-	-	101	+2.7	1.3	2期振り増益
経常利益	5,281	4,147	4,500	4,500	-	-	353	+8.5	1.3	2期振り増益
当期純利益	2,969	3,297	3,100	2,500	△600	△19.4	△797	△24.2	1.0	4期振り減益
経常売上利益高率	6.2%	5.2%	5.8%	5.8%	-		0.6%			
R O E	8.2%	8.6%	7.6%	6.2%	△1.4%		△2.4%			
R O A	6.0%	4.8%	4.9%	5.1%	0.2%		0.3%			
一株当たり純資産 (円)	684	748	788	762	△26	△3.3	+14	+1.9		

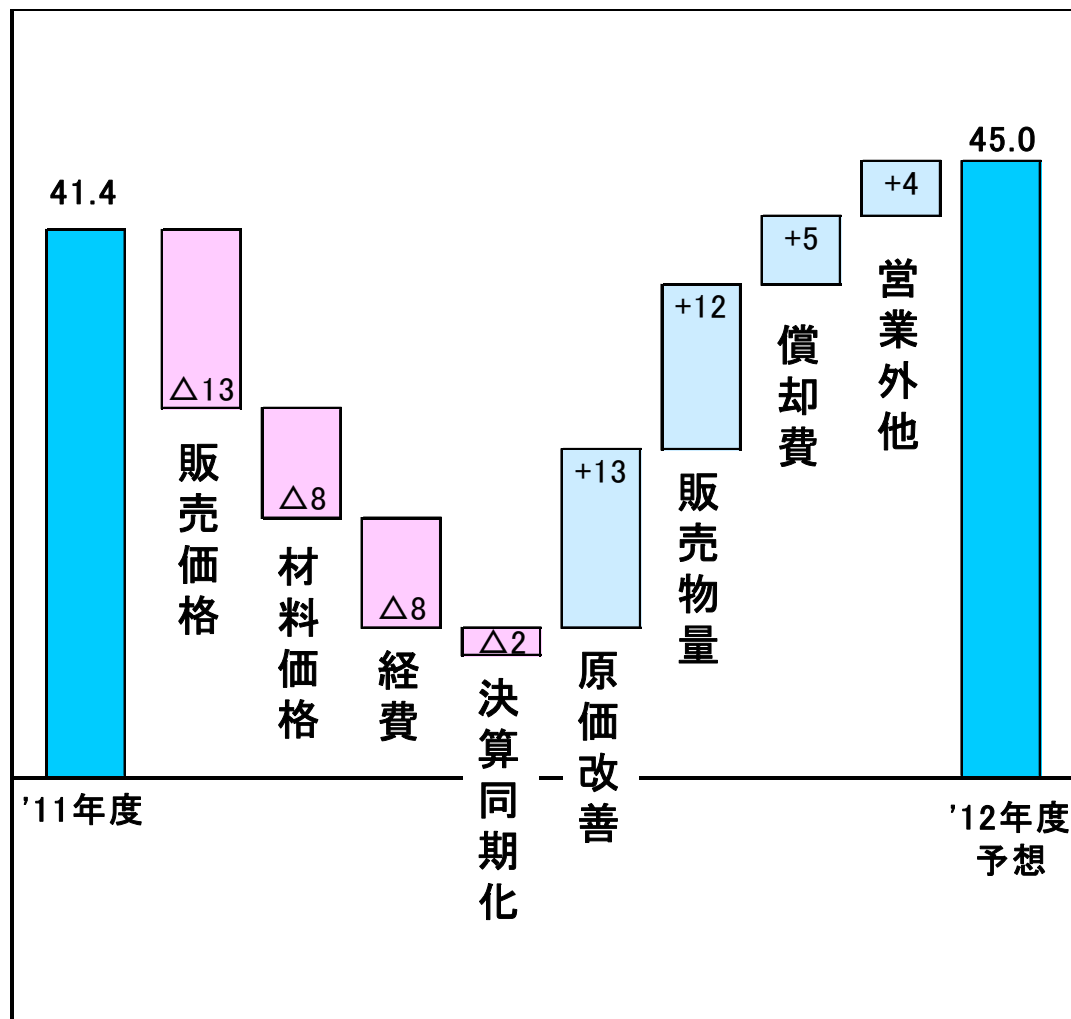


3-2 通期 連結利益増減要因

《12年度 対 11年度》
売上高 $\Delta 15$ 億円



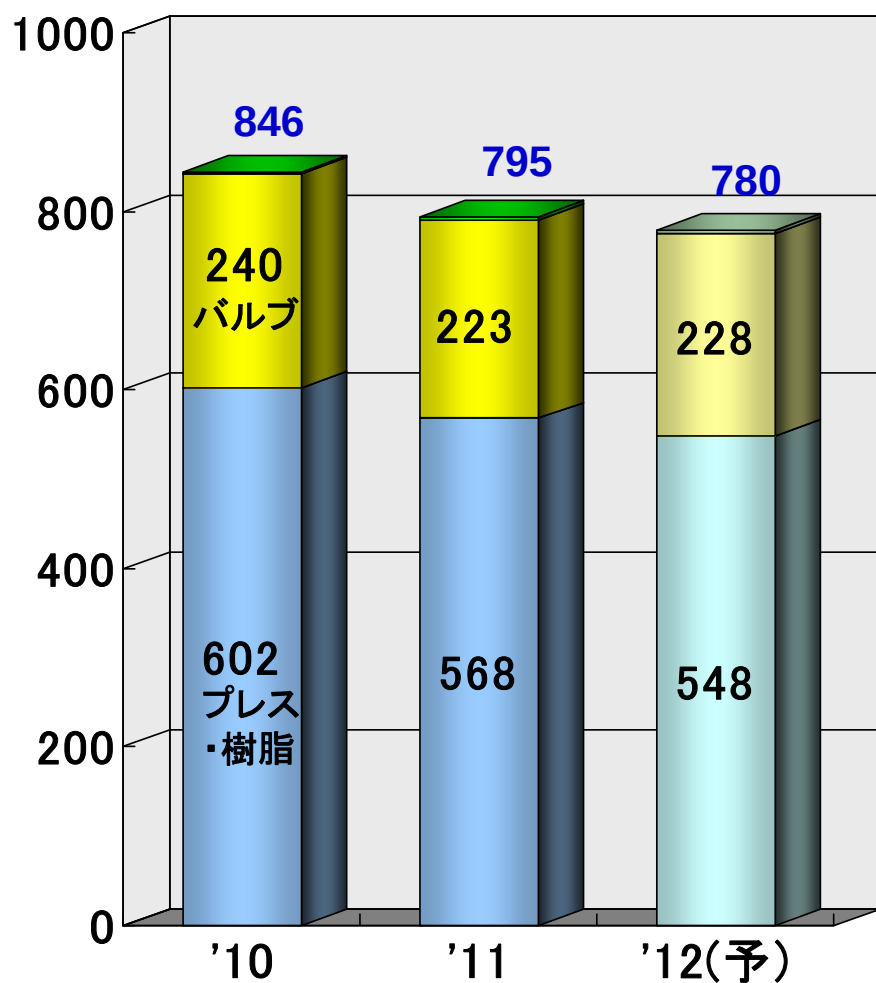
《12年度予想 対 11年度》
経常利益+3億円



3-3 通期 連結事業別セグメント

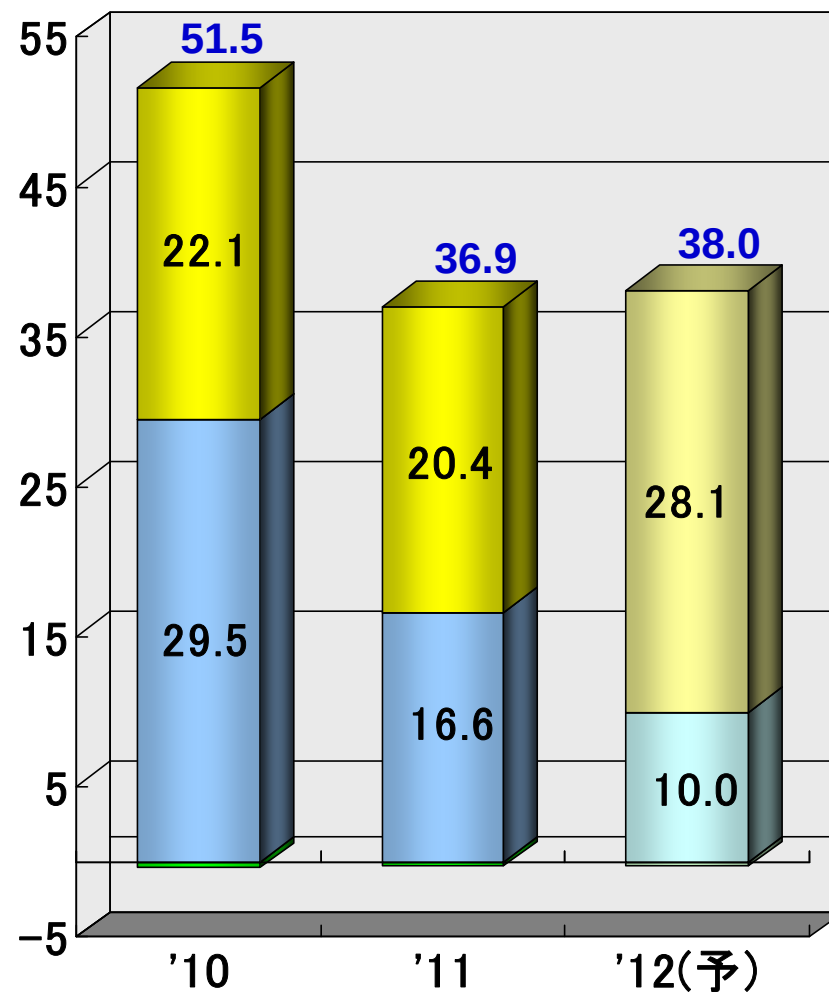
(億円)

《売上高》



(億円)

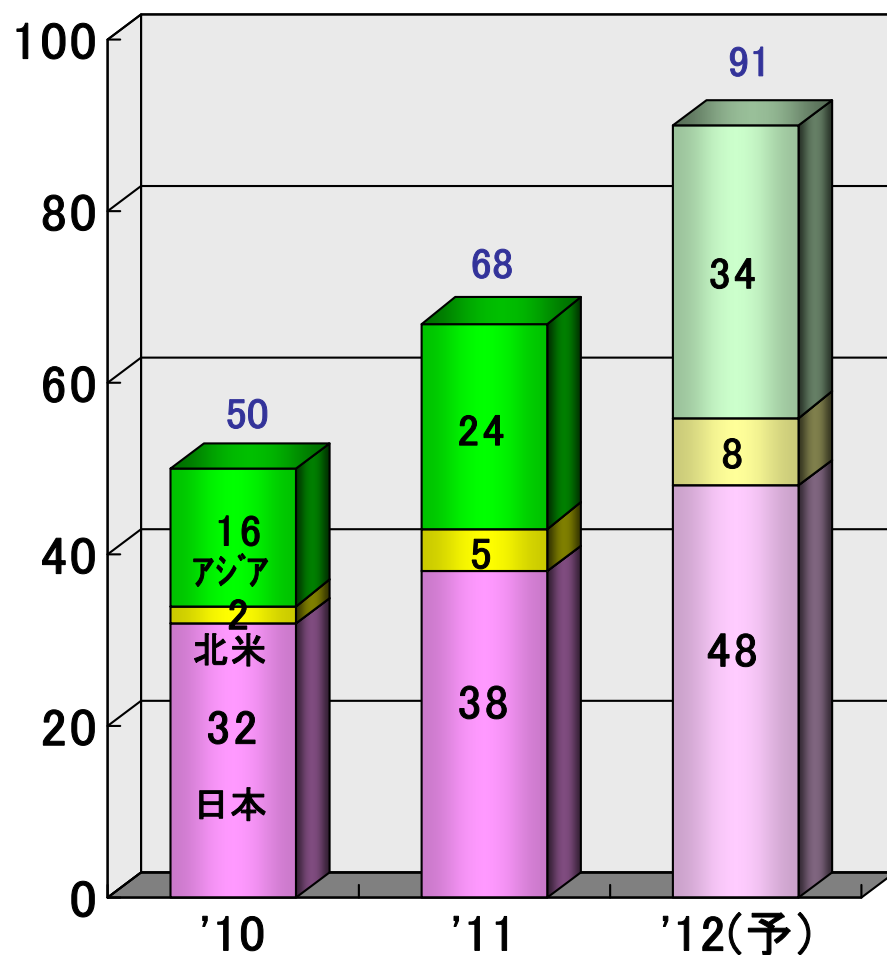
《営業利益》



3-4 通期 連結設備投資・減価償却費

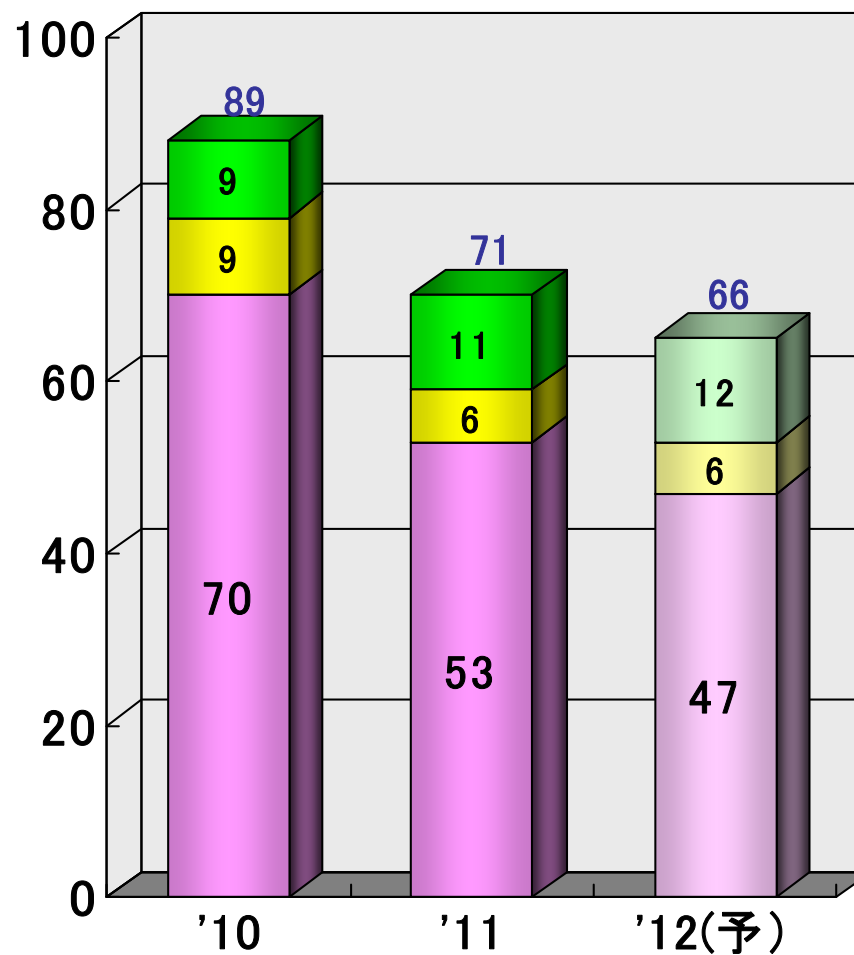
(億円)

《設備投資》

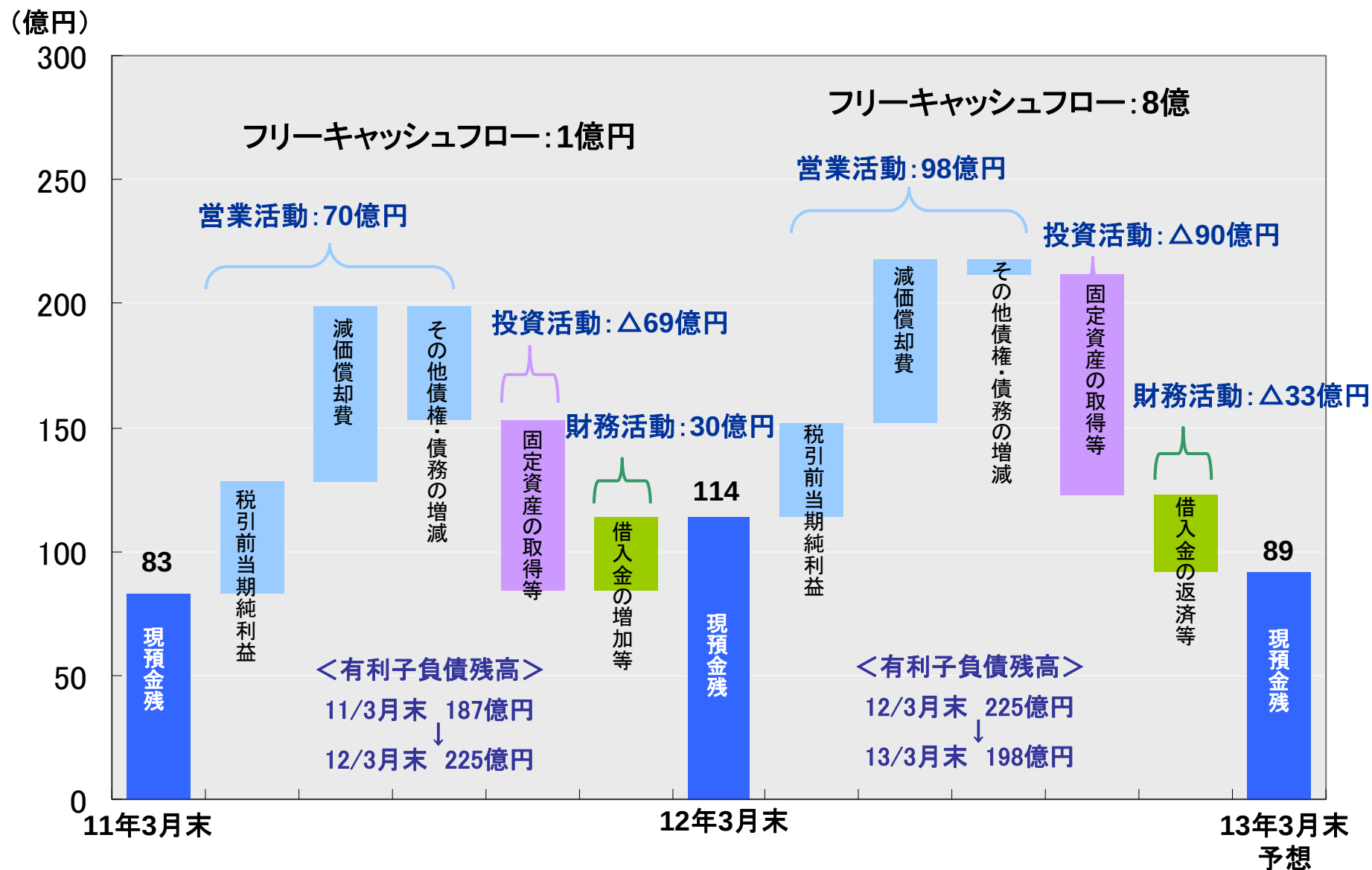


(億円)

《減価償却費》



3-5 連結キャッシュフロー予想

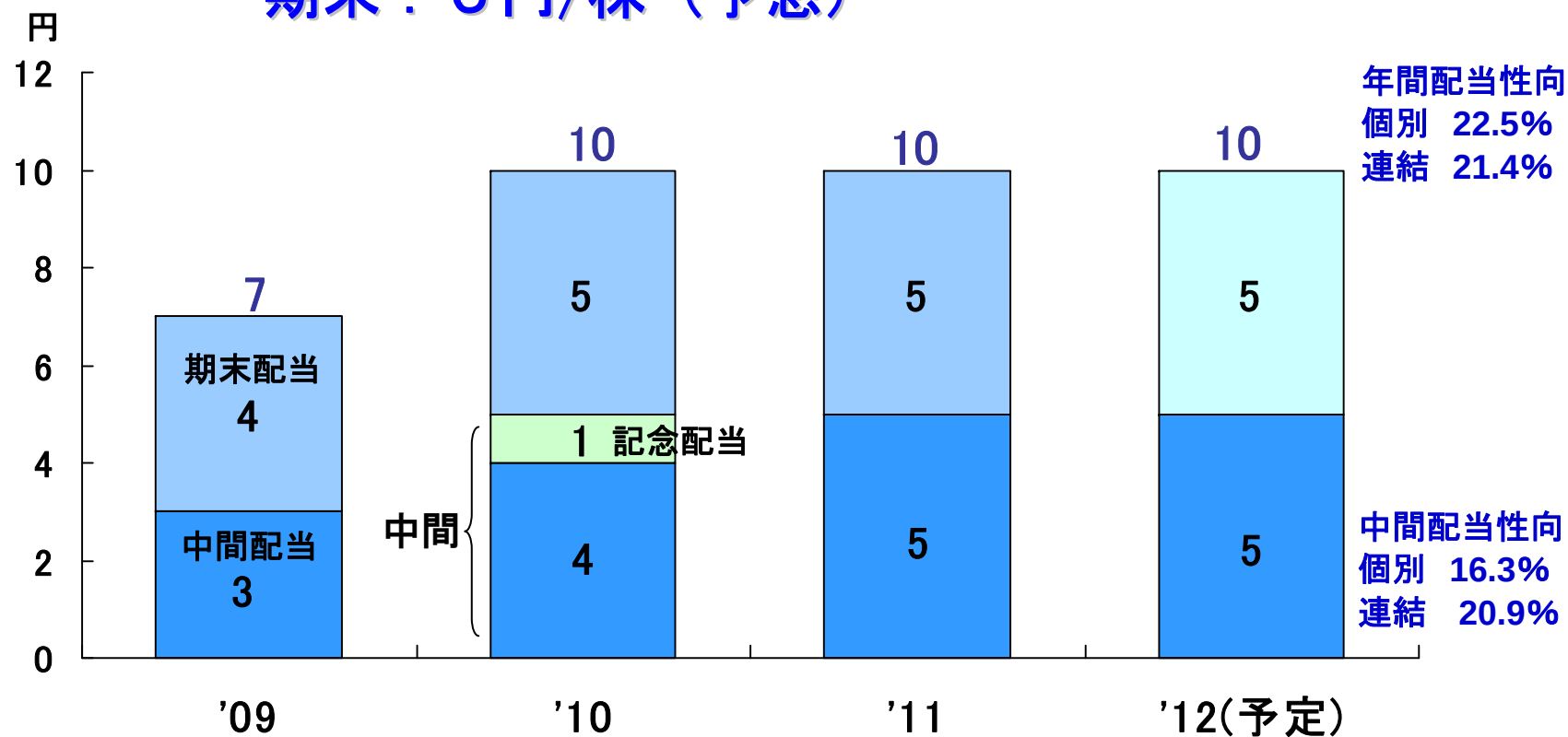


3-6 株主還元

2012年度配当

中間：5円/株 配当総額：269百万円

期末：5円/株（予想）



3-7 2012年度 上期・下期比較

(百万円、%)

	11年度		12年度		上期対下期	
	上期	下期	上期	下期	増減	増減率
売上高	33,215	46,364	42,613	35,387	△7,226	△17.0
営業利益	490	3,209	2,548	1,252	△1,296	△50.9
経常利益	639	3,508	2,941	1,559	△1,382	△47.0
当期純利益	569	2,728	1,277	1,223	△54	△4.2

2012年度下期予想対上期実績利益増減要因

(単位:億円)

プラス要因		マイナス要因	
原価改善	4	販売物量の減少	△ 13
経費減等	5	営業外収益減	△ 5
為替差益	1	販売価格の低下	△ 3
労務費	2	減価償却費増	△ 3
		その他	△ 2
計	12		△ 26
経常利益増減 △ 14			

3-8 <参考>通期 個別業績

14

* 過去最高

[百万円]

	'11		'12		第2四半期比		前期比	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期予想	増減	増減率	増減	増減率
売上高	24,292	57,840	30,832	58,000	6,539	+26.9	160	+0.3
営業利益	△53	1,934	* 2,028	3,000	2,082	—	1,066	+55.1
経常利益	332	2,872	* 2,529	3,600	2,197	+660.6	728	+25.3
当期純利益	225	1,850	* 1,654	2,400	1,428	+633.3	550	+29.7
配当金(1株当り)	5円	10円	5円	10円	—		—	
売上経常利益高率	1.4%	5.0%	8.2%	6.2%	6.8%		1.2%	
ROE	-	5.4%	-	6.7%	-		1.3%	
ROA (円)	-	3.8%	-	4.6%	-		0.8%	
一株当たり純資産 (円)	601	659	669	678	68	+11.3	19	+2.9

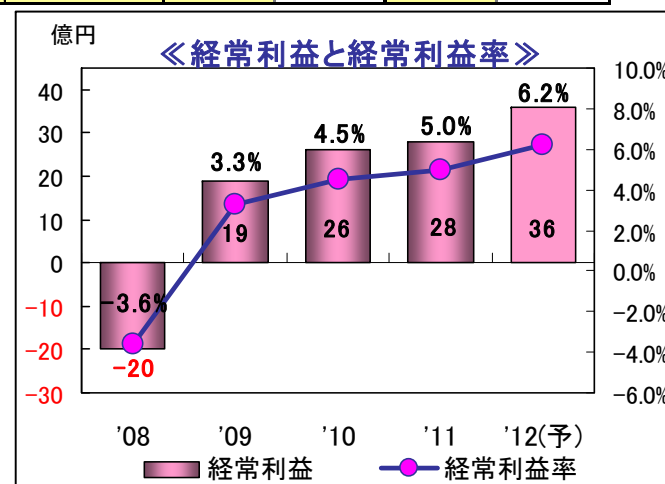
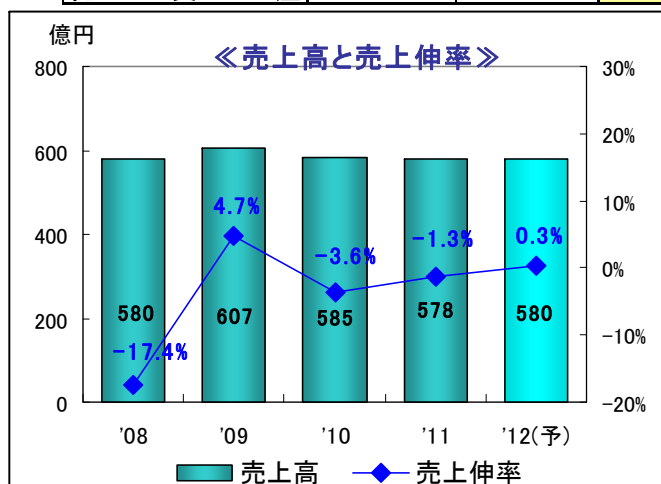
通期

3期振り増収

2期振り増益

4期連続増益

4期連続増益



4-1 PACIFIC GLOCAL VISION 2020

<創立100周年 2030年への一里塚として2010年に策定>

めざす企業像・機能のあり方

- 「連結経営」から「融合経営」へ
- 5つの“シンカ”（深化・進化・新化・真価・信加）を追求する企業

5つの“シンカ”



- ① 深化：改善する力
- ② 進化：革新する力
- ③ 新化：事業を起こす力
- ④ 真価：企業価値を高める力
- ⑤ 信加：信頼・信用を築く力

CSRのトライアングル



4-2 OCEAN-15 : 5つの“シンカ”

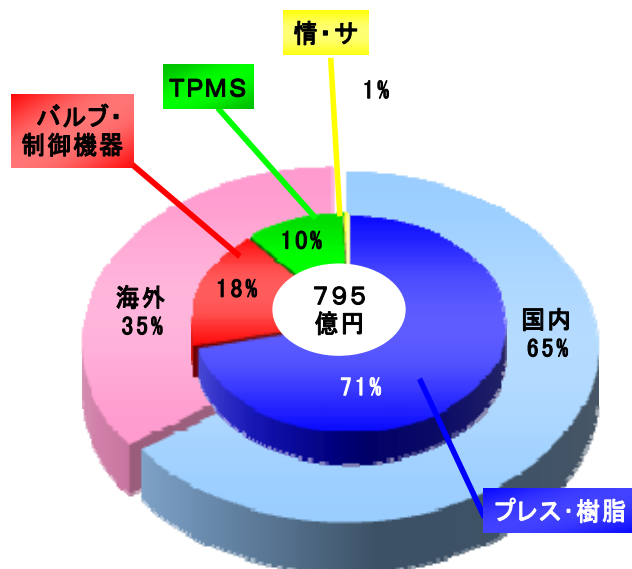
長期ビジョンの確実な実効をめざし、2015年の事業のあり方を明確にするため、「OCEAN-12」を「OCEAN-15」に改訂しました。

トップクラスのグローバルな部品メーカーをめざす

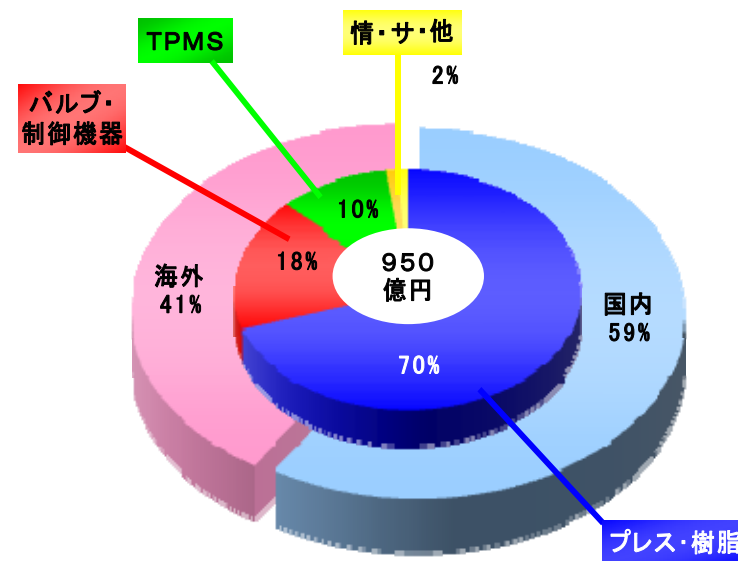


4-3 OCEAN-15 : 数値計画

【 2011年度実績 】



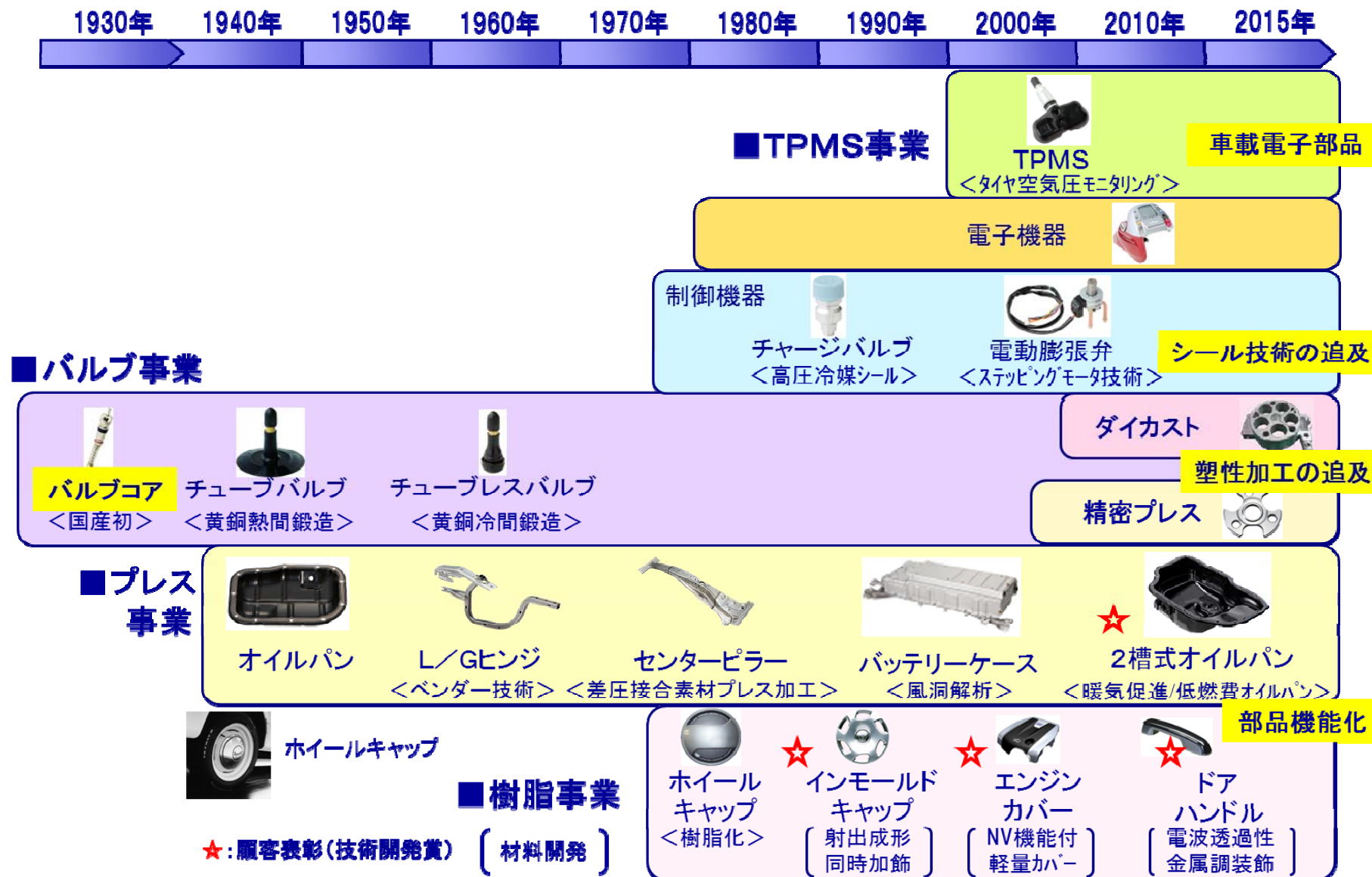
【 2015年度予測 】



2015年度 目標

連結売上高	: 950億円
連結経常利益	: 6%台
海外売上高比率	: 40%以上
総資産回転率	: 1.05

5-1 事業と主な技術開発の歩み



5-2 プレス技術

■世界初“2槽式オイルパン”の開発

2011年度トヨタ技術開発賞受賞

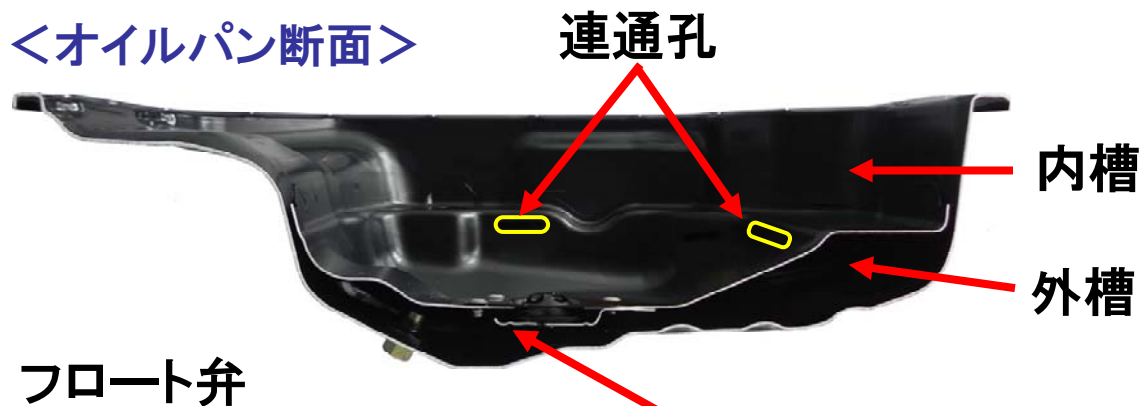
2012年“超”モノづくり部品大賞「自動車部品賞」受賞

オイルパン内を2槽化し、循環油量を削減することで、エンジンオイルの温度上昇を早め、燃費向上(CO2排出量削減)を実現



2槽式オイルパンの開発・量産化世界初

＜オイルパン断面＞



連通孔による
内・外槽オイルの
切り替え





5-3 樹脂技術

■フィルム技術を用いたオーナメント開発

2011年度トヨタ部品標準化賞受賞

「フィルムインサート成形」と「インモールド転写成形」技術を組み合わせ、オーナメントの流用化・汎用化を実現。



■軽量化エンジンカバー

- ・ナノコン発砲成形と材料着色技術による
軽量化・低コスト化
- ・ウレタン発砲によるNV機能アップ



6-1 グローバル展開

ベルギー	
社名	Pacific Industries Europe NV/SA
所在	ブリュッセル市近郊
設立	2012年
資本金	1百万ユーロ
事業概要	TPMS等自動車部品の販売及び技術サービス
売上	—
社員	1名

中国		
社名	長沙太平洋半谷汽車部件有限公司	太平洋工業(中国)投資有限公司
所在	湖南省長沙市	天津市
設立	2011年	2012年
資本金	2,300万US\$	3,000万US\$
事業概要	自動車用プレス部品の製造・販売	中国子会社の統括管理
売上	1億円	—
社員	30名	5名

米国	
社名	Pacific Industries USA Inc.(持株会社) Pacific Manufacturing Ohio Inc.
所在	オハイオ州シンシナティ市
設立	1999年
資本金	4,760万US\$
事業概要	自動車用プレス製品・TPMS製品の製造・販売
売上	148億円
社員	400名

台湾	
社名	太平洋汽門工業股份有限公司
所在	台中市
設立	1984年
資本金	2.25億NT\$
事業概要	自動車用プレス製品・バルブ関連製品の製造・販売
売上	44億円
社員	230名

タイ	
社名	Pacific Industries(Thailand) Co., Ltd.
所在	ウェルグロー(バンコクから東へ35km)
設立	1989年
資本金	1.8億バーツ
事業概要	バルブ関連製品の製造・販売 (樹脂製品の製造・販売)
売上	12億円
社員	160名

韓国	
社名	太平洋バルブ工業株式会社
所在	梁山市(釜山近郊)
設立	1987年
資本金	80億ウォン
事業概要	バルブ関連製品の製造・販売
売上	12億円
社員	80名

社名	太平洋エアコントロール工業株式会社
所在	牙山市(ソウルから約30分)
設立	2004年
資本金	500億ウォン
事業概要	ALダイカスト カーエアコン部品の製造
売上	19億円
社員	170名

日本			
社名	太平洋工業株式会社	太平洋産業株式会社	太平洋開発株式会社 太養興産株式会社
所在	岐阜県大垣市	岐阜県大垣市	岐阜県大垣市
設立	1930年	1974年	1972年
資本金	43億2,000万円	4,800万円	14億2,800万円
事業概要	自動車部品、電子機器製品等の製造ならびに販売	自動車用プレス製品の製造・販売	ゴルフ場運営 (養老カントリークラブ)
売上	580億円	11億円	2億円
社員	1,620名	25名	20名
社名	ピーアイシステム株式会社	PECホールディングス株式会社	
所在	岐阜県大垣市	岐阜県大垣市	
設立	1987年	1961年	
資本金	3,500万円	9,840万円	
事業概要	情報処理、ソフト開発・販売	オートフーズ・電気小物製品の製造・販売	
売上	4億円	155億円	
社員	55名	650名	

プレス・樹脂製品事業
バルブ製品事業
情報・サービス事業



6-2 韓国における事業拡充

■ 太平洋エアコントロール工業で ALダイカスト加工の事業拡充

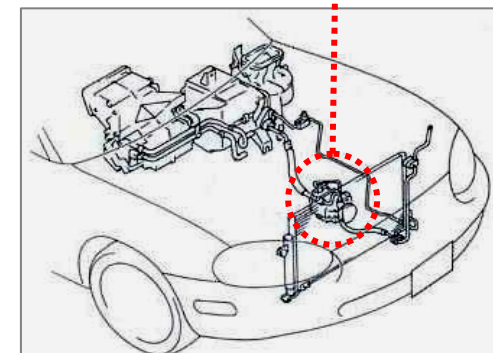
2011 年3月、現代自動車のSQ認定取得

カーエアコン用コンプレッサーのケーシング部品を
ダイカストから切削加工まで一貫生産。

今回工場を拡張し、2012年度中に車両300万台分/年、
2015年に400万台分/年の生産体制を確立。

設備投資額 : 500億ウォン(約35億円) ※2011~2015年予定
売上計画 : 500億ウォン(約35億円) ※2015年予定

シリンダー





6-3 北米・欧州事業の拡充

■ TPMSの米国生産と欧州販売対応

為替／災害リスクを回避し、安定供給基盤を確立するため
米国でTPMS生産を開始



ベルギー

Pacific Industries Europe NV/SA.

欧州域内におけるTPMS装着
法規化に伴う市場拡大に対応
するため、12年5月に設立

日本

太平洋工業株式会社

国内自動車メーカーへ供給
輸出も含め、マザー工場

米国

Pacific Manufacturing Ohio Inc.

北米自動車メーカーや
欧州販売子会社へ供給

■ 米国子会社に電着塗装ラインを導入

- ・ プレスから塗装までの一貫生産ラインを構築し、オイルパンを生産
- ・ 北米における競争力を強化し、多客化を推進

■ 日系自動車メーカーとの取引を開始

12年7月より北米三菱へ納入開始



6-4 中国事業の拡充

■ 中国事業の拡大に伴い、統括会社を設立

中国子会社2社の効率的な業務管理と、生産準備機能を強化

太平洋工業(中国)投資有限公司〔統括会社〕

- ・中国子会社の生産準備業務を統括
- ・金型を現地調達し、中国／日本／米国へ供給

天津太平洋汽車部件有限公司

- ・長城汽車との取引開始
- ・S/A部品受注への対応

長沙太平洋半谷汽車部件有限公司

- ・広汽三菱との取引開始
- ・華中／華南地域への拡販

支援

台湾

太平洋汽門工業股份有限公司

青島太平洋宏豊精密機器
有限公司

- ・保有株式を売却



6-5 タイ事業の強化

■ アセアン市場のシェア確保のため工場を増設

Pacific Industries (Thailand) Co., Ltd.

バルブ事業

バルブ事業を強化

サプライチェーン強化のため、日本に次ぐバルブの第2生産拠点として、一貫生産・能力増強を図る。

樹脂事業

新たに自動車用の樹脂製品事業を開始

ホイールキャップ、センターオーナメントを生産し、日系自動車メーカー各社の現調化ニーズに対応。

《新工場の概要》

土地 : 10,700m²
建物 : 5,940m²
設備投資額 : 260百万バーツ(約7億円)
売上予想 : 370百万バーツ(約10億円)

6-6 国内3極体制を強化

- プレス・樹脂製品事業
- バルブ製品事業

九州地区



九州工場

- ・ トヨタ自動車東日本(株)より、若柳工場を取得予定。
- ・ 生産設備を寄せ止めし、再配置することにより、国内3極体制を確立。

東北地区



栗原工場

若柳工場

2013年稼働開始予定

中部地区



本社・西大垣工場



東大垣工場



養老工場



北大垣工場



美濃工場

CSRの取り組み

■CSRレポート2012発行

<http://www.pacific-ind.co.jp/csr/report/>



2012年9～10月開催の
ぎふ清流国体・清流大会で健闘

